

第二十五回帝國議會
衆議院

砂鑛法案外一件委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治四十二年二月十七日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

大井 卜新君	柏原 佐源太君	荒谷 桂吉君
橋本 次六君	世良 靜一君	根岸 昭太郎君
市田 兵七君	武滿 義雄君	矢島 浦太郎君
大西 五一郎君	豐増 龍次郎君	後藤 文一郎君
園山 勇君	木下 謙次郎君	

出席政府委員左ノ如シ

司法省參事官 齋藤十一郎君 農商務省參事官 織田 一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農商務書記官 工藤 英一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

砂鑛法案

○委員長(大井卜新君) 是カラ開會致シマス

○豐増龍次郎君 此法案ニ依リマス、鑛業法ノ十六條ニ、鑛業權ハ不可分トスト云フ條項ガアル、然ルニ此砂鑛法案ニハ準用シテナイヤデアリマスガ、不可分デハナト云フ御意見見デ、準用サレナイコトニナッテ居リマス

○政府委員(織田一君) 御答致シマスガ、書イテナクテモ不可分ト云フ積リデアリマス

○豐増龍次郎君 サウスルト詰リ私ノ方デモ、兎モ角砂鑛權ノ本質ト致シマシテ、不可分ト云フコトハ當然ナコトデアラウト信ジ居リマスガ、殊更ニ此條項ダケヲ準用シナイト云フコトニナッテ居リマスカラ、同ジ鑛業法ニハ規定ガアッテ砂鑛法ニ其規定ガ無いノデ、異様な感シヲ持チマスルシ、又解釋上其處ニ疑念ガ起ルト云フ懸念ガアリマスガ、鑛業法ニ既ニ不可分ト云フ規定ガアル以上ハ、砂鑛法ニモ御準用ニナッテ相當デアラウト思ヒマスガ、特ニ之ヲ御除キニナッテ理由ハ如何デスカ

○政府委員(織田一君) 今ノ質問者ノ御考ノ通り、此權利ハ性質上不可分ノモノデアルト云フ考デ、書カナクテモ何等差支ガナイト云フ積リテ書カヌデアリマス

○豐増龍次郎君 サウスルト是ハ議論ニ屬スルカラ更ニ申上ゲマスガ、更ニ進ンデ御尋ヲ致シタイノハ、此鑛業法ニハ明カニ不可分トアルシ、又無イト致シマシテモ、權利ノ性質上不可分デナケレバナラヌ答ノモノデアアル、殊ニ砂鑛法ニハ其規定ガ無クテモ、性質上不可分ト云フ政府委員ノ御答デアリマスガ、斯ウ云フ問題ニ逢着スルノデス、ソレハ此鑛業法ニ依テ二人以上ノ共同鑛業權者ガアル際ニ、其中ノ一人若クハ數人ニ對シテ債權ノ執行ヲシヤウトスル場合ニ、其鑛業權ニ對シテ其一人若クハ數人分ノ強制執行ヲシヤウト致シマスルト鑛山監督署ノ方デハ鑛業權ハ不可分デアアル、從ッテ一人ニ對シテ強制執行ハ出來ヌト云フノデ、現ニ鑛山監督署ノ方ハ其一人分ノ強制執行ガ出來

ヌト云フノ解釋ヲ取ッテ居リマスルシ、亦裁判所ノ方デモソレヲ是認致シマシテ、執行ガ出來ヌト云フコトニナッテ、現ニ九州地方デハサウ云フ例ガ行ハレテ居ッテ、サウシテ非常ナ不便ヲ當事者ニ與ヘテ居ルデアリマシテ、昨年ノ如キハ九州辯護士大會ニ於キマシテ、昨年十月中デアッタ記憶致シマスガ、其際ニ此共同鑛業權者ハ一人若クハ數人ニ對シテモ、強制執行ノ出來ル途ヲ開クト云フ規定ヲ求メルト云フヤウナ決議ヲシタコトガアル位ノコトナデス、此事ハ例ヘハ權利ガ不可分トシタコトデ、其一人若クハ二人ニ向ッテ、強制執行ガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、法律上私共ノ考カラ致シマスルト、尙疑義ノアルコトデアルガ、出來得ルト云フ解釋ガ相當デアルマイカト思ヒマスガ、現在ノ鑛山監督署ノ方デハ不可分ノ性質上出來ナイト云フ解釋ニナッテ居リマスルシ、又裁判所ノ方デモ現ニ福岡ノ裁判所、其他九州ノ管内ノ裁判所ニ於テハ、其鑛山監督署ノ意見ヲ是認シテ、強制執行ガ出來ヌデ困難シテ居ルト云フコトニナッテ居リマス、此事ニ付テハ既ニ不可分ト云フコトガ法案ニハ無いケレドモ、性質上不可分デアルト云フ御解釋デアレバ、此問題ニ付テハ政府委員ノ御意見ハ如何デアリマスガ、性質上不可分トシテモ、共同者ノ一人ニ向ッテ強制執行ガ出來ルカ出來ナイカ、出來ルト云フ御意見見デアリマスカ伺ヒマス

○政府委員(織田一君) 工藤書記官カラ御答致シマス

○農商務書記官(工藤英一君) 唯今ノ持分ノ強制執行ト云フコトハ、不可分ト云フ規定ヨリカモ、寧ロ此鑛業法ノ第七條ノ「共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ組合契約ヲ爲シタルモノト認ム」ト云フ、此組合關係カラ差押ガ出來ナイト云フ風ニ此方デハ解決シテ居リマス、不可分デアッテモ持分ハナイト云フ譯ニハ行キマスミイト思ヒマス、不可分デアアルカラ持分ヲ認メヌト云フコトハ言ヘナイト思フ、持分ノ差押ト云フコトハ不可分ノ規定カラシテイケヌト云フコトハナクシテ、寧ロ第七條ノ組合契約ト云フ規定カラ、是ハ持分ノ差押ヲ見込シタト云フコトニナッテ居ルノグラウト思ヒマス

○豐増龍次郎君 ソレハ唯今承ッタノデスガ、組合契約デアアルカラ強制執行ガ出來ナイト云フコトハ、法律上異論ノ起ルトコロデ、詰リ、此強制執行ハ鑛業權其者ニ對シテ執行スルノデゴザイマスカラ、詰リ此鑛業權ニ對シテ強制執行ガ出來マスルト云フコト、次ニハ共同鑛業權組合ニモ強制執行ガ出來ル、斯ウ云フ關係ニナッテ參ル、斯ウナルト現在ノ共同組合ト云フモノハ一向必要ガ無いデアッデ、現ニ裁判所ノ許サマル趣意モ決シテ此共同組合デアルト云フコトデナクシテ、唯不可分デアルト云フ政府カラ之ヲ檢査ニ對シテ警戒スル、詰リ鑛業權ヲ分割スルト云フ結果ヲ生ズルモノデアルト云フヤウナ、異様な解釋ノ——此解釋ガ至當デアアルカドウカハ私ハ存ジマセヌガ、現ニ裁判所ノ方デハサウ云フ取扱ニナッテ居ル、唯今ノ御説明ノ趣意トシテ、福岡裁判所ノ解釋ト云フモノハ違ッテ居ルヤウニ存ジマス、ソレニ付テ何カ福岡鑛山監督署アタリカラ本省ニ言ッテ來タコトデモアルノデゴザイマセウカ

○農商務書記官(工藤英一君) 唯今ノ御質問ニ對シマシテハ司法省ノ決議モ役所

ノ方ニアリマスカラ、此次ノ會ノ時ニ持參致シマシテ御説明致スコトニ致シマス

○豐増龍次郎君 政府委員ニ御尋致シマス、此第七條ニ砂鑛權ハ相續、讓渡、抵當權、滯納處分又ハ強制執行ノ目的タル外權利ノ目的タルコトヲ得ス。トゴザイマスル規定ハ、丁度ハ鑛業法ノ規定ニモ同一ナ規定ガゴザイマスガ、是ニ付テチヨット御尋シテ置キタイと思ヒマスノハ、此鑛業權ノ場合ニ多ク起リマスル例デゴザイマスガ、斤先契約ト云フコトヲ致シマス、鑛業權ニ付テハ、無論政府モ既ニ御承知ノコトデゴザイマセウガ、詰リ鑛業權者ガ其鑛業ト云フ事業ヲ他ニ受負ハヒテシマヒマシテ、其事業家ガ採掘ノ事業ヲ損益ヲ自ラ負擔致シマシテ、サウシテ採掘致シマスル出炭高ノ假令バ五歩トカ一割トカ、若クハ金額ニ致シマスルコト云フト、出炭高ノ五分トカ一割トカ云フヤウナコトデ、鑛業權者ト云フモノハ其出炭高ノ幾分カノ利益ヲ受ケル、サウシテ事業ハ一切他ノ人ニヤラセル、斯ウ云フ契約ガ多ク行ハレテ居リマス、殊ニ九州地方ニ多イノデアリマス、是等ノ契約ハ此條項ニ依テ有効ナリト云フ御意見デアルカ、將タ是等ノ契約ハ無効デアルト云フ御意見デアルカ、ソレヲ承リタイ、且又既ニ此砂鑛權ガ不可分ト云フコトニ致シマスルト、同シ砂鑛ト云フ中ニ砂金、砂鐵、砂錫ト云フヤウニ種々舉ゲテゴザイマスガ、之ヲ以テ砂鑛權ノ中ニ含マレテ居リマスガ、隨テ唯今土地ノ經營ヲ立デマシテ、砂鑛權ヲ得マシタ以上ハ、其中ニゴザイマスル鐵デモ、金デモ、總テ砂鑛ノ下ニ一切ノ採掘ガ出來ル、斯ウ云フコトニナリデアリマスガ、若シ此砂鑛權者ガ得タ權利ノ中ニ、砂鐵ノ部分或ハ砂錫ノ部分ト云フヤウナモノデケラ、他人ヲシテ採掘セシムルト云フヤウナ契約ヲ致シマシタ際ニハ、是ハ有効デアルト云フ御意見デアリマスガ、無効デアルト云フ御意見デアリマスガ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ……是ハ餘程實地上、重要ナ問題ト思量致シマスカラ、多分此事ハ本省ニイロク、訓令ヲ本トシタ案ガ鑛山監督署ノ方カラアラウト思ヒマス、若シサウ云フコトニナッテ居リマスラバ、必ズシモ今此所デ御答ヲ願ハヌデモ宜シウゴザイマス、此次ニ御取調ニナッテ御答ヲ……

○政府委員(織田一君) 今御尋ノ問題ハ餘程重大ナ問題デアリマスカラ、能ク取調ベマシテ……

○委員(大井ト新君) 宜シウゴザイマスガ

○豐増龍次郎君 此次ニ願フコトニシマス

○橋本次六君 ちヨット伺ヒマスガ、此砂鑛法ノ大體ハ砂鐵砂金等ニ重キヲ置イタ法案ト思ヒマスガ、鑛滓ト云フモノモゴザイマス、即チ目下此採掘ヲ願出テ居ルモノハ金ニ多イノデアルカ鐵ニ多イノデアルカ、何種類ニ多イノデアルカ、且此金鐵ニ付テハ總テ政府ノ保護獎勵ガ他ノ鑛業ヨリモ一層重キヲ置イテ居ルノデアルカ、ソレニ付テハ此鑛業法ニ於テ金鐵ノ保護、若クハ獎勵ニ付テハ、鑛區稅——他ニハ鑛業稅モアルケレドモ、鑛業稅タケハ金鐵デハ取ラヌトカ云フデケニ止ッテ居ルカ、其他資金ノ貸與ノ如キ、或ハ其外政府ガ御世話ガ出來ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、ソレハ私ハ十分ナ調査モ出來マセウガ實際ソレヲノコトガアリマスルカ、又政府ノ便宜上ノ見込ニ依ッテ金山ニ限ッテサウ云フコトガ出來テ居ルナラバ、ドウ云フ程度ニ於テ、ドウ云フ範圍ニ於テ貸與等ガ行ハレテ居ルカト云フコトデケラ、ちヨット承リタイノデアリマス

○政府委員(織田一君) 砂鑛ノ種類ノ數ハ差上ケマシタ筈版ニアリマスガ、其數ニ

付テハ砂金ヨリハ砂鐵ノ方が多イノデアリマス、ソレカラ砂鑛ノ保護ニ付キマシテハ、砂鐵砂金、此三ツノモノ、間ニ何等ノ差等ハ設ケテナイノデ、第一條ノ第二項トシテ新シク設ケマスル所ノ鑛滓又ハ廢鑛ニ付テハ、砂金トシテアリマスガ、其他ニ付テハ砂鐵、砂鐵砂石ニ付テハ何等ノ區別ヲ設ケテ居ラヌノデ、別ニ砂金ニ對シテ保護ト云フモノモアリマセウ

○荒谷桂吉君 一般鑛業ト砂鑛業トハ性質モ違ッテ居レバ、狀態モ違ッテ居ルノデアリマセウガ、曩ニ鑛業法改正ノ場合ニハ、第五章ニ於テ殊更ニ鑛夫ト云フ一章ヲ設ケテ、労働者ノ保護ニ注意シテアルノデアリマス、是ハ今後世ノ進ムニ從ッテ労働者ニ注意ヲ拂フト云フノハ最も相當ナコト、考ヘマスガ、此砂鑛法ニ於テハ鑛業法ノ多クハ引用シテ居マスケレドモ、第五章ハ一向取ッテナイノデアリマス、此邊ニ對シテ政府ノ趣旨ハドウ云フ次第デアリマスガ、労働者ニ對シテハ一向此保護ノ途ハ執ラナクテモ宜イト云フ現況ニナッテ居リマスガ、サウシテ現今砂鑛ニ貸與シテモ居ル鑛夫ト云ヒマスガ人夫ト云ヒマスガ、一箇年ノ數ハドノ位デアリマスガ、其ノ邊ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(織田一君) 鑛業法第五章ニ於キマシテ、鑛夫ノコトハ特別ニ規定致シデアリマスケレドモ、此砂鑛法ニ付テ何故無イカト云フ御質問デゴザイマスガ、砂鑛法ノ砂鑛ニ從事シマス労働者ハ、一般ノ労働者ノ如ク地上ニ於テ働キマスノデアリマシテ、其狀態ガ他ノ労働者ト似テ居リマシテ、鑛業法ニ規定シマストコロノ鑛夫トハ別ニシテ差支ナカラウト云フ考デ規定シテアリマセウ、第二ノ御尋ノ就業者ノ數ハ差上ケテ置キマシタ筈版摺ノ中ニアリマシテ、明治四十年ニ於キマシテ砂金ニハ九百八十八人、砂鐵ニハ三千九百九十八人、其他ノ砂鑛ニ付テハ二百二十二人合計四千二百二十九人出テ居リマスガ、ズット前ノ明治三十一年ニ較ベルト餘程減ッテ居リマス

○武滿義雄君 宜シウゴザイマスガ

○委員(大井ト新君) 宜シウゴザイマス

○武滿義雄君 初回ノ時間ニ私ハ缺席ヲ致シマシテ、答案ノ趣意モ能ク聽取ッテ居ラナイノデアリマスガ、理由書ヲ見マスルト不備缺漏ノ點ガ少ナクナイ、鑛業法トノ調和ヲ取ル上ニ於テ甚ダ面白クナイト云フ意味ト思ヒマス、サウ致シマシテ現行法ト、唯今此處デ吾々ガ議スルコトニナッテ居リマス所ノ砂鑛法ト對比シテ見マスルト、現行法ニ缺ケテ居ル所ハ此法デ埋合ガ付キマシテモ、又此法デ缺イタモノハ寧ろ現行法ノ方デ劣ッテ居ルヤウナ所モ、無イデモナイト云フヤウナ點モアリハセヌカト云フ感ヲ持ッテ居リマス、出願ノ手續ナド申シマスト極ク輕易ノ事柄ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ甚ダ肝要ナ事デゴザイマス、其手續ハ鑛業法ノ第何條何條ニ含有サレテ居ルケレドモ、素人ハ甚ダ不便ヲ感ズル、ちヨット見ルト共同出願ノ場合ノ如キドウシテ宜イカ分ラヌノデアリマス、是モ私ハ缺點ト見テ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ一ノ例ニ過ギナイノデ、其他現行法ニアッテ然ルベキモノヲ此改正法案ヨリ取除ケテシマッテアルモノガ多イヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ人各見ルトコロガ違フノデアッテ、取ッテ除ケテアルモノハ寧ろ不用デアル、又入レテアルモノハ、無論實際ニ入レテ置カナケレバナラヌモノト見ラレタニ違ヒナイノデアリマスガ、一體此改正案ヲ出サレタノハドウ云フノガ一大眼目ニナッテ居ルノデアリマス

カ、手續ト云フ點ニ於テ不完全ノタメニ、砂鑛業ノ發展ヲ見ルコトが出来ナイト云フコトニナッテ居ルカラ、手續ヲ完備ニシヤウト云フノデアルカ、又ハ他ノ鑛法ト調和關係ヲ保ッテ行ク上ニドモ不都合ノ點ガ多イカラ、ソレガタメニ砂鑛業ノ發展ヲ見ルコトが出来ヌト云フノデ、ドウシテモソレ等ノ點ヲ網羅シテ砂鑛業ノ發展ヲ圖ラネバナラヌト云フコトニナッテ居ルノデアルカ、又ハ實際ノ事業上ノ發達ト云フコトハ外ニシテ、唯法文ノ完備ヲ期セラレタ譯ニナッテ居ルノデアリマス、大體上ノ話デアリマス、ソレカラ其次ニ砂鑛業ノ現在ノ狀態ハ如何ナル狀態デアルカト云フコトニ付テ、既往數年來ノ砂鑛業ノ沿革盛衰ノ狀況ヲ承リタイ、或ハ段々盛ニナッテ來テ居ル傾向ガアリマスカ、或ハ年々衰微ニ傾キツ、アルトカ、而シテ其盛衰ノ原因理由ハ何ニ依ル譯デアルカト云フ點ト、盛ニナッテ居レバ宜イガ、衰微シテ居レバ其原因ヲ究メテ、益々是ガ發展ヲ圖ルト云フノガ、當局者ノ責任ト思ヒマス、衰微シテ居ルナラ今後斯ウ云フ考ヲ以テ發達ヲ見ルヤウナコトニ努メル積リデアルト云フ御見込、ソレカラ是ハ間接ニナリマスケレドモ、此法案ヲ審查議定致シマスル上ニ於テ、參考上ノ必要ト考ヘマスカラ御尋ヲ致シマスガ、一般ノ鑛業ハドウ云フ傾向ヲ來シテ居ルカト云フコトモ、尙砂鑛業ト同様ニ、沿革盛衰及ヒ其盛衰ノ因テ岐ル、所ノ原因理由、ソレガ不幸ニシテ衰微ニ傾キツ、アルナラバ、其原因ハドウ云フ譯デアルカ、將來ハ斯ウ云フ風ニシテ發達ヲ期スル積リデアルト云フコト、私ノソレヲ聞キタイノハ、金銀鑛ノコトデアル、銅鑛業ハ世界ノ大勢上ヨリ今日ノ衰微ヲ來シ居ルコトハ、私ハ已ムヲ得ヌコト、考ヘマスケレドモ、金銀鑛ノ方ハ年々私ハ衰微沈衰ノ形勢ヲ見テ、誠ニ國家トシテハ此上モナク憂フベキ實狀ヲ見ルト云フコトニナッテ居ルト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、此當局者ヨリ參考シテ廻サレシタコロノ調査書ニ依テ見マスルコト云フト、四十年ヨリモ四十二年ノ產金高ガ殖エテ見エル、是ハドウ云フ統計ニ依テスノ如キ數字ガ現ハレタノカ分リマセヌケレドモ、私ノ調べタコロニ依リマスルト、各地方共ニ此金銀鑛業ハ衰退シテ居ル、此衰退シテ居ルノワドウトカシテ是ガ發達ヲ圖ラナケレバナラヌト云フノハ、當業者ト云ヒ、又當業者ナラヌモノデモ今心配シテ居ルノデゴザイマスガ、ソレ等ノ點ニ於テハ如何ナル事實上ノ御認ガアルノデアルカ、又將來ハ如何ニシテ此等ノ發達ヲ期スル途ヲ——ドウ云フ風ニスレバ是カラ採鑛セシメテ、十分ニ鑛業ノ發達ヲ見ルト云フコトニ至ラシメルコトガ、出來ルト云フヤウナ御趣意ニナルデアラウカ、是ハ大切ナコトデアラウト考ヘマスガ、少シ是ハ間接ニナッテ居ルノデアリマスケレドモ、砂鑛業ト關聯シテ之ヲ聞イテ置カナケレバナラヌコトデゴザイマス、先ツソレダケヲ承ッテ置キタイ

○委員長(大井ト新君) 武滿君ハ前回御出席ガナカタノデスガ、此前ニ御尋ノコトハ、大臣カラ荒マシ改正スル趣意ヲ述ベタノデゴザイマス、ソレハ速記録ニアルデゴザイマセウ

○武滿雄義君 新聞デ大要ヲ見テ速記録ヲ見マセヌ、迴ッテ居ルナラ箱ニアルト思ヒマスカ、マダ見ナイノデアル、新聞ニアルノハボンヤリシタ話デアル、尙委シイコトヲ承リタイ、新聞ノ記事以外ニ私ノ間ハ涉ッテ居ラウト考ヘマス

○委員長(大井ト新君) 若シ御答が出来ルナラバドウデ……
○政府委員(織田一君) 現行砂鑛採取法ト比較シテ、今年度提出シタ砂鑛法ト如

何ナル點ニ於テ違ッテ居ルカト云フ御質問デアリマシテ、第一ニ砂鑛採取法ニ書イテアルコトデアッテ、今日ノ此砂鑛法ニ重要ナ點ガ抜ケテ居ルト云フ御質問デアリマシタガ、ソレハ現行法ニアルコトデアリマシテ、必要ナコトハ悉ク此砂鑛法ニ載ッテ居ルト云フコトヲ申述ベテ置キマス、砂鑛法ニ於キマシテ現行法ヨリ改正追加シマシタ趣旨ト云フモノハ、法文ノ體裁トカ、或ハ其他ノ手續上ノ問題ヨリモ、寧ろ實質上ニ於テ變更ヲ加ヘタト云フノガ趣旨デアリマシテ、今委員長ノ御話ノ通り第一ハ先般此所デ大臣ガ述べラレタ如ク、第一ノ點トシテハ第一條ノ第二項、ソレカラ外國人ガ日本帝國ニ法人ヲ組織スル以上ハ、砂鑛權ヲ享有スルコトが出来ルト云フノガ第二ノ點デアリマス、ソレカラ第三ニハ第七條ニ砂鑛權ヲ相續讓渡其他ノ權利ニ出來ルコトニナリマシテ、今迄ヨリハ權利トシテ存在ヲ認メルノデアリマス、砂鑛權ト云フノデアルカラ一ツノ權利ト認メナイ考デアル、是ガ第三ノ點デアリマス、其根本ノ考カラ各箇條ガ從ッテ修正セテ次第デアリマシテ、重ナル理由ハ其點デアリマス、ソレカラ其他鑛業法ヲ準用シタメニ、砂鑛法ガ分リ惡クナタト云フヤウナ御話ガゴザイマスガ、是ハ鑛業法ノ準用規定ヲ別ニ參考トシテ差上ケタ如ク、澤山準用スル箇條ガアリマスカラシテ、已ムヲ得ズ準用規定ヲ設ケタ次第デアリマシテ、若シ一箇條ヤ二箇條デアリマシタナラバ、其通り此所ニ書イテモ宜シウゴザイマスガ、此通り澤山準用ヲ致シマシタカラシテ、澤山準用シタカラ已ムヲ得ナイコト、御考ヲ願ヒマス、砂鑛ノ狀態ハ如何カト云フコトデアリマシタガ、是ハ蒔蒔版摺リニシテイロノノ點カラ調べテ、產額トカ當業者ノ數トカ、採取スル箇所、坪數ト云フヤウナモノモ調べテ差上ゲマシタカラシテ、之ヲ御覽下サルト大体ハ御分リニナラウト思ヒマスカ、之ヲ見マスルコト云フト總計ノ價格ニ於キマシテハ、三十七、三十八、三十九、四十、此五箇年ハ殆ど同シコトデアル、併ナガラ其前ニ遡リマスルコト云フト、此數字ヨリモ多イ年モアル、此増減ト云フモノハ砂金地ノ減セラレタトカ、或ハ發見セラレタ場所ガ採取シ盡サレタトカ云フヤウナ事情モアリマシテ、此砂金ノ取高ガ多イ年モアルシ少ナイ年モゴザイマス、イロノノ其他經濟上ノ狀況ナドデ、斯ウ云フ風ニ變化ヲ致シテ來テ居リマスケレドモ、此所數年間ト云フモノハ太シタ變化ハナイ、併シ將來ドウスルカト云フ話デアリマスカ、將來モ成ルベク此砂金、砂鐵、砂錫ナドノ產額ヲ増シタイ、ソレニ付テハ斯ウ云フ風ニ法律ヲ改正シマシテ、權利ヲ確カニシタ方ガ宜カラウト云フ考カラ、此法律案ガ改正サレタ次第デアリマシテ、即チ此法律案ヲ改正サレル大趣意ト云フモノハ……

○武滿雄義君 チョット御話中デアリマスガ、重ニ結果デアルカラ結果ヨリモ寧ろ實際ヲ御話ヲ願ヒタイ、砂金ノ狀態ニ付テハ、又砂鑛業ノ狀態ニ付テハ金銀鑛業ノ狀態ニ付テモ、結果ハ之ヲ調べルト分ル、併ナガラ狀況ハ今實狀ハ斯ウ云フ風ニナッテ居ル、是ハ斯ウ云フ點ガ缺點デアラウト思ヒマス、狀態ニ變化ヲ及シテハ宜クナイカラ、斯ウ云フ風ニ一ツ方針ヲ極メテヤル積リデアルト云フ事實上ノ御話ヲ聞キタイト云フノガ、私ノ希望デアル

○委員長(大井ト新君) 是カラ先キノ見込デセウ

○武滿雄義君 御分リニナリマセヌカ、金銀鑛ノ全國ノ總テヲ御覽ニナタ譯デアリマシマス、大體ヲ捉ヘテ今ドウ云フ狀態デアル、結果ハ固ヨリ分ッテ居リマス結果ハ信ヨナイノデアル、事實ハ之ニ反シテ居ラウト思フ、大體上實際上ノ模様ヲ御話下サ

イマシテ、斯ウ云フ今狀態アル、此狀態ヲ挽回シ、進シテ又之ニ發展ヲ圖ルニハ今ノ方針針ハイカヌ、或ハ宜シ、此方針ヲ履行スレバ宜イトカ云フ御見込ガナレバナラヌ、金鑛業々々御話下サレテモ宜イ、私ノ見ル所ト政府委員ノ見ラレル所ト、事實上別ガアルカ、同ジコトアレバツレニ對スル意見ガアル

○政府委員(織田一君) 現在ノ產出及ビツレノ出來タ原因狀況ニ付テハ、調ヲ持ツテ居リマセヌカラ後ト願ヒマス、砂金ニ付テハ取調ハ出來テ居リマスガ、大體事業ヲスルニ付テハ資金ノ必要モアリマスカラ、砂鑛權ヲ設定シテ、ソレカラ抵當權迄モ設定スルコトヲ許シテ、砂金ノ產出ヲ圖リタイト云フ次第アリマス

○後藤文一郎君 先刻豐増君ノ質問ニ付テノ件アリマスガ、鑛業法ノ十六條ニ「鑛業權ハ不可分トス」ト云フコトガアルニモ拘ハラズ、今度ノ此法案ニハ入レテナイ、ドウモ政府委員ノ答辯ハ要領ヲ得ナイ、其事ニ付テ質問ヲ致シタイ、此「鑛業權ハ不可分トス」ト云フ事柄ハ、九州ナドデハ裁判問題ニナツテ居ル、ソコデ鑛業法十六條ノ「鑛業權ハ不可分トス」ト云フ事柄ヲ入レナカッタノハ落サレナカッタノアリマスガ、或ハ殊更ニ除カレタノアリマスガ、第二ニハ除イタトスレバ其理由如何、第二ハ斯様ナ文面ハ無クツテモ當然分テ居ルモノトスレバ、鑛業法ノ十六條ハ無用ノ長物ト云フ政府ノ御意見デアリマスガ、以上三點ニ向ッテ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(織田一君) 是ハ別ニ説明シナクツテモ御分リデアラウト思ヒマス、是ハ有ツテモ無クツテモ宜イノデアリマス

○豐増龍次郎君 私ハ二十三條ニ付テ御尋シタイ、二十三條デハ鑛業法ノ第七條第一項第二項デケラ準用スルコトニナツテ居リマスガ、三項デケラ準用シナイノデアリマスカ、是ハドウ云フ理由デ此條項ヲ準用ニナリマセヌカ

○農商務書記官(工藤英一君) 此砂鑛ハ大體ニ於テ鑛業ト事業ノ性質ハ違ッテ居リマス、所ニ依リマシテハ、中ニモ中國邊デハ所ニ依テ殆ド村ノ私有物見タイニナツテ居リマス、然ルニ之ヲ新ニ入レルコトニナリマス、俄ニ前ノ組合ヲ解散シテ、新ニ組合ヲ設置シナケレバナリマセヌ、殊ニ村ノ共有ト云フヤウナモノニナツテ居リマス、親父ガ死ヌト子供ガ相續スルコト云フノハ、寧ロ村ノ事情カラ云ツテモ普通ノ狀態デアリマス、ソレニ此組合人ガ脫會スル場合ハ大變面倒ナ手續ニナツテ居リマス、砂鑛ノヤウナ事業ニハ成ルベクサウ云フ面倒ナコトヲサセナイ方ガ宜カラウト云フコトデ、此條項デケラ除キマシタ

○武滿義雄君 此第一條ニ「金鑛ノ廢鑛又ハ鑛滓ニシテ主務大臣ニ於テ其存在狀態砂金ト類似スト認メタルモノハ之ヲ砂金ト看做ス」ト書イタル、是ハムツカシイ事業上ノ問題ニナルデアラウト思フ、所在ノ如何ナル處ヲ問ハズ、又鑛區內デアラウトナカラウトヲ問ハズ、此存在狀態ガ砂金ト認メタ場合ハ、餘程爭ノ起ル問題デアル、ソレカラ第五條砂鑛區鑛區ト重複スル場合ニ於テハ砂鑛權者及鑛業權者ハ其ノ採取及採掘又ハ試掘ニ付互ニ協議ヲ爲スベシトアル、是ハアトテ起ツタ場合ト思ヒマスガ、サウデゴザイマスガ、又一方ノ方ハ願フデ居テ一方ノ方ハ願ハヌト云フ場合ヲ指シタモノデアリマスガ、前後兩者トモ指シタモノデアリマスガ、ソレカラ第六條デ「金鑛ヲ目的トスル鑛業權者ハ其ノ採掘鑛區內ニ存スル砂金ヲ採取スル權利ヲ有ス但シ其ノ鑛區內ニ既ニ存スル砂鑛區ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ」トアル、此「既ニ存スル」ト云フハ此砂鑛權者ノ鑛區

願フ後ニ出シテ、後ニ許可ヲ得タ場合デケラ云フノデゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ是デケラ

○農商務書記官(工藤英一君) 第一條ノ第二項ノ場合デゴザイマスルガ、ソレハ御質問ノ通りデアリマシテ、鑛區デアリマシテモ鑛區ノ無イ處デアリマシテモ、斯ウ云フ狀態ニ類シテ居ルト認メタモノモハ、砂金ト認メテ出願スルコトガ出來ルト思ヒマス、第五條ノ「砂鑛權者及鑛業權者ハ其ノ採取及採掘又ハ試掘ニ付互ニ協議ヲ爲スベシ」是ハ兩方ガ重複スル場合デアリマシテ、重複スル場合ハ斯ウ云フ風ニヤルト云フ働キノ上ニ付テノ規定

○武滿義雄君 願フデ許可ヲ受ケタ後ノ場合デスカ、又其場合モ指シ

○政府委員(織田一君) ソレハ如何ニシテ重複スルカト云フ質問デゴザイマスガ

○武滿義雄君 サウデナイ、願フデアル甲、乙兩者ガ孰レモ許可ヲ受ケタ後デ調ベテ見ルト、重複シテ居ッタト云フ場合ハ無論ノ話アラウト思ヒマスガ、マダ先ニ許可ヲ受ケテ居ラヌ場合ガアル、鑛業權者デモ、砂鑛權者デモ、ソレガ又後カラ願フデ乙ノ者ガ許可ヲ受ケナイ間ニ、重複ノ場合デアルト云フコトヲ發見シタ場合ヲ指スノカ

○政府委員(織田一君) 此第一條ノ二項ニ付テ答ヘマシタ通ニ、砂鑛ト當リ前ノ鑛業トハ別ニ見テ居リマシテ、一ツノモノガアルカラ他ノモノガ許サレヌト云フ譯デハナイカラ、從ツテ重複スル場合ガ多イノデアリマス——多イト云フコトハナイ、重複スル場合ハアルノデゴザイマスガ、重複シタ場合ニハ如何ニスルカト云フ規定デアリマシテ、重複ヲ起スカ起サヌカト云フコトハ、即チ第一條デ説明シタ如ク、砂金砂鑛及砂鑛ヲ取ラウト云フナラバ、鑛區ノアル如何ニ拘ラズ願フコトガ出來ルト云フ答辯デ分ラウト思フ

○武滿義雄君 サウデヤナイノデス、一ツトモ許可ヲ受ケテ居ッテ重複スル場合ニハ、無論協議シナケレバナラヌ、ソレカラ鑛業權者ノ方ガ許可ヲ受ケテ居ル鑛區內ニ、後カラ又私等ガヤルトスルト、其場合ニハマダ許可ヲ受ケヌ時ニ協議ヲシナケレバナラヌ必要ガアルダラウト思フ、サウ云フ場合モ指スノデスカト云フノデス

○政府委員(織田一君) 許可ヲ受ケタ後デス、許可ヲ受ケタ後ニ働カントスル場合○武滿義雄君 ケレドモ許可ヲ受ケナイ時ニシタ方ガ利益ガアル

○政府委員(織田一君) 第五條ハ愈々働ク時ノ場合ヲ規定シテアル、砂鑛權ガ設定サレテカラ砂鑛區トナル、鑛業權ガ設定セラレテ鑛區トナルノデ、設定サレタ鑛區ト設定サレタ砂鑛區ト重複シタ場合ト云フノデスカ——ソレカラ第六條ノ御質問ノ趣意ハ先ニ砂鑛區ガアル場合デケカト、斯ウ云フ御話デスナ——其通りデゴザイマス

○荒谷桂吉君 曩ニ同ヒマシタ從業者ト云フノハ、稼人ノ延日數ヲ積ツタノデアリマスガ、サウデナクシテ許可ヲ得タ者トカ何トカ云フノヲ從業者ト見タノデアリマスガ、其處ヲ同ジテ置キタイ

○政府委員(織田一君) 是ハ延日數デナクテ、人數ヲ計算シタノデアリマス

○荒谷桂吉君 許可ニナツタ人數デアリマスナ、私ノハサウデナイ、延日數ヲ同ジタノデアリマス

○政府委員(織田一君) 調ベテ見マスルガ、分ルカ分ラヌカ保證スル譯ニハ行キマセヌ○武滿義雄君 前ニ反リマシテ第一條ヲ私ガ御尋ヲ致シタ所ガ、御尋ヲ致シタ通りデ

アルト云フ御答デアツタガ、サウスルト鑛業權者ノ鑛區内ニ廢鑛ガアルノデスナ、其廢鑛ガ砂金ト類似シテ状態ト云フノハ、ドウ云フ状態ヲ指スノデアリマスガ、モウ一應確メテ置キタイ

○政府委員(織田一君) 今ノ御質問ハ金鑛トシテヤント働キヲ爲シツ、アルニ拘ラズ、其處ニ廢鑛ガアルカト云フ御話デスカ

○武滿義雄君 廢鑛ヲ砂金ト看做ス場合ノ状態ハ、ドウ云フ場合ヲ砂金ト看做サレマスカト云フノデス、山デアラウガ河デアラウガ土地ノ何レタルヲ問ハズ――

○政府委員(織田一君) 此場合ニハ何レモ鑛滓デアラウト思フ、廢鑛ト云フヨリカ鑛滓ガ流レテ出テ

○武滿義雄君 廢鑛ハ取除デスカ

○政府委員(織田一君) 取除イテハ居ラヌガ、實際サウナルダラウト思フ

○武滿義雄君 所ガアナタ方ノ立法ノ御見込ハドウ云フ意味デ規定サレタデアルカ、取除ケラル、デアルカ混同サレテアルノデアルカ、混同サレテアルトスレバ如何ナル状態ヲ云フノデアルカ

○農商務書記官(工藤英一君) 唯今ノ御質問ノ存在状態同一ト云フノハ廢鑛モ鑛滓モ水ノ作用ニ依テ河ニ流レマスル、河ニ流レテ存在シテ居ルノハ現ニ九州邊ニハ澤山アリマス、ソレデ砂金モ通常河筋アタリニアルノハ多ク此……

○武滿義雄君 ソレハ分ッテ居ル、山ノ鑛區内ノモノヲ言ッテデス

○農商務書記官(工藤英一君) 山ノ中ニアルノデスカ、山ノ中ニアッテモ例ヘバ水ノ作用デ、砂金ノ存在状態ハ通常滯積シテ居リマスサウ云フヤウナ場合ニハ砂金ト同ジ状態ト見マシテ、廢鑛鑛滓ノ溜ッテ居ルヤウナモノハ砂金ト認ムルト、斯ウ云フ考デゴザイマス

○武滿義雄君 是ハ多クノ場合ハ砂金トハ看做サレヌコトガ多イト私ハ思ヒマスガ、サウ云フ御見込デスカドウデスカ、山ノ中デハ……

○農商務書記官(工藤英一君) 山ノ中デアリマシテモ廢鑛ノ大キナ石ノ、唯積重ネテアルヤウナモノデアリマスレバ、是ハ砂金トハ認ムル譯ニハ行キマスミイト考ヘマス、其他ノゴク細粒ニナリマシテ、水ノ作用デ山ノ上デモ滯積シテ居ル、沈澱シテ居ルヤウナ場合ガアリマスルト、ソレハ砂金状態ト同一ノモノトシテ、砂金トシテ取扱フト云フ考デアリマス

○武滿義雄君 第九條デゴザイマス「砂鑛出願地他人ノ所有ニ係ルトキハ所有者ノ承諾ヲ受クヘシ」トアリマス、是ハ許可後ノ事ヲ指シタノデアルカ、許可前ノ事ヲ指シタノデアルカ、又何レヲ指シタモノデアルカ、前後ヲ問ハズ指シタノデアルカ

○政府委員(織田一君) 是ハ出願スル時ノ規定デゴザイマス

○武滿義雄君 許可後デモ宜イデセウ

○政府委員(織田一君) 承諾ガ無カッタラ許可シナイデス

○世良靜一君 チョット御伺シマスガ、此公用徵收ト云フモノト、砂鑛法トハドウ云フ關係ガゴザイマス

○世良靜一君 公用徵收ノ特別法デゴザイマスガ、若クハ公用徵收トハ何等ノ關係ガナイカト云フノデス

○政府委員(織田一君) ドノ點カラ質問ガ起ッタノデスカ

○世良靜一君 砂鑛法ハ公用徵收ノ一部デハナイカ知ラヌト思フ、ツマリ鑛石ハ國家ノ所有デアル、砂金ハ一私人ノ所有デアルト云フ立法ノ趣意デ此法案ガ出タト思フ、若シサウデアルト一種ノ公用徵收ト思フ、公用徵收ノ特別法ナラバ命令ガ規定シテモ良イ譯デ、特ニ法律ヲ出ス必要ハナイト思フノデス

○政府委員(織田一君) 砂鑛ハ土地所有者ノ所有デアルニモ拘ラズ、公益ノタメニ徵收スルノデアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ徵收ト云フヨリハ、所有者ノ所有トシテ、所有者ガ自分ニ出願スレバ自分ニ採取スル權利ヲ與ヘテアルノデス

○世良靜一君 他人ガ採ルトキハ一種ノ公用徵收ト思フ、法理上カラ言ヘバ……サウデナケラネバ法律自體ガ立法サレナイト思フ、公用徵收ノ理由ガアルカラ、砂鑛法ヲ出シテ他人モ採レルト云フコトヲ法律ガ權利ヲ認メタノデアッテ、一種ノ公用徵收ト思フ、若シ公用徵收ガナイト云フ意見ナラバ、ソレデ宜シウゴザイマスケレドモ能ク似テ居ル、土地ノ所有者ト協議セヨ同意ガナケレバ行政訴訟モ出來ル、訴願モ出來ルト云フ規定モアリマスガ、法理上公用徵收デアルト云フナラバ、ソレデ宜シイノデアリマス

○政府委員(織田一君) 公益ノタメニ作ッタ制限法ニ違ヒアリマセヌガ、之ヲ公用徵收法ト云フコトハ通常言ハナイノデアリマスガ、御答ニ困リマス

○世良靜一君 憲法ニハ一個人ノ權利ハ法律ノ規定ニ依ラナケレバ、無理ニ徵收スルコトハ出來ナイ、サスレバ一私人ノ土地ノモノヲ他人ガ取ルコトニナルカラ、法律ノ規定ヲ要スルノデ、是モ一種ノ公用徵收ト言ハナケレバナラヌト思ヒマス

○政府委員(織田一君) 公益ノ爲ニ制限スル法律ニ違ヒアリマセヌガ、公用徵收ト云フ中ニ這入ラヌト思フノデス

○世良靜一君 然ラバ別ノ特別法ニ依テ保護スルト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(織田一君) サウデス

○豐増龍次郎君 チョット御尋致シマス、第九條ハ砂鑛權ノ出願スルニ付テハ、土地ノ所有者ノ承諾ヲ必要條件トシテアリマスガ、其二項ニハヤハリ又打消サレテ居ルト云フノハ、土地ノ所有者自身ガ砂鑛權ノ出願ヲサナイ場合ハ、總テ此承諾ヲ拒ムコトガ出來ナイトナッテ居リマスガ、元來此土地ノ所有者ニ付テハ、砂鑛權者カラ相當ノ損害ニ付テ保證金ヲ出スコトニシテ居リマスルシ、又既ニ土地ノ所有者ノ權以外ニ一種ノ砂鑛權ナルモノヲ認メタ以上ハ、砂鑛權出願ニ付テ土地ノ所有者ノ承諾ヲ經ルコトヲ原則トスルコトハ、此砂鑛權ヲ保護スル上ニモ、砂鑛事業ノ發達ヲ期スル上ニモ、非常ニ不便不道理ナルコトニナリハシナイカト思ヒマス、又實地此所有者ノ承諾ガナイト云ウデ、出願ガ元來出來ナイコトニナリマスルト、砂鑛ノ出願ヲシヤウトスル人ハ砂鑛ノ發見ヲ致シマシタ、所デ所有者ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌ、承諾ヲ得ルニ付テハ、所有者ガ承諾ヲ與ヘルト與ヘナイトハ自己ノ權利ニアルトスルナラバ、何處マデモ引張ッテ自分デ出願ノ意思ガナイニモ拘ラズ、種々ノ理由ノ下ニ之ヲ與ヘルコトヲ遷延スルカモ知レナイ、ソコデ九條ノ規定カラ言ヒマスルト、承諾ヲ拒ムコトハ出來ナイカラ、結局裁判官ノ制定ヲ乞フヨリ外ニ

途ハナイト思フ、土地所有者ハ元來砂鑛採取ノ意思ナキモノデアルト云フ、民事裁判所ノ判決ヲ受ケテ其判決ノ確定ノ上テ登錄ガ初メテ出來ルコトニナルト云フト、出願ノ上ニ非常ニ困難ヲ來シ、又將來非常ニ妨害ヲ來タスモノト思ヒマスガ、此點ニ付テ政府委員ノ御考ハ決シテサウ云フコトハナイト云フ御見込デスカ

○政府委員(織田一君) 是ハ砂鑛ノ方カラ申シマスレバ、御質問ナサツタ御方ノ御趣意ノ如ク幾ラカ不便ハアリマスケレドモ、土地所有者ノ方ノ側カラ見マスルト云フト、自分ハ全ク不承知、全ク知ラヌノニ拘ラス、砂鑛權ヲ設定セラレテ自由ニ探掘サレテハ困ル點モアリマスカラ、兩方ノ間ヲ調和スルタメニ、今日ノ現行法ニ於キマシテモ土地所有者ノ承諾ヲ求メ、土地所有者ハ自分ガ取ルベキノ外ハ必ズ承諾シナケレバイカヌト云フ風ニ規定ガ設ケテアリマシテ、是ハ改正スル點デアリマセヌデ、現行法ヲ承ケ繼イダ規定デアリマス、出願ニ付テハ今日ノ施行細則ニ詳シク規定シテアリマシテ、所有者ノ承諾書ヲ出サセテ承諾書ノ添付ガ無ケレバ願書ヲ受理シナイトナツテ居リマス、無イ場合モ書イテアリマスガ、二百二十三頁ノ所ヲ御覽ニナリマスルト分リマス

○豐増龍次郎君 成程前ノ砂鑛採取法ハ未ダ土地所有權以外ニ於ケル一種ノ砂鑛探掘權ト云フ、即チ一種ノ物權ヲ設ケタモノデアリマスカラ、舊砂鑛採取法ニ下ニアツテハ土地ノ權利者ノ承諾ガ必要ナル、是ハ適當ト思ヒマスガ、既ニ本案デハ之ヲ土地所有權ノ一部トシテ、所有權以外ノ一種ノ砂鑛權ヲ新タニ設定スルコトニナツテ居ル、即チ一種ノ物權トシテ保護スルコトニナツテ居ル以上ハ前ノ規定トハ根本ノ意義ニ於テ違フテ居ル、此際所有者ノ承諾ヲ必要トスルト、舊法時代別段物權ヲ認メテ居ナイ時ト同様ノ規定ニナツテシマヒマスカラ、其邊ニ於テハドウ云フ御考デアリマスカ、殊ニドウシテモ承諾ノ理由ナクシテ拒シタト云フ際ハ、ヤハリ裁判所ノ確定判決ニ基キテ出願スル外ナイト云フノカ、或ハヤハリ土地所有者ノ承諾ガ無クテハイカヌト云フノカ、伺ヒタイ

○農商務書記官(工藤英一君) 唯今ノ御問ハ成程一ノ物權デアリマスケレドモ、此砂鑛ト云フモノハ地表ノ事業ガ一番多イデアリマスカラ、其關係カラ云ヘバ、土地所有者ニ仕事ヲヤラセタ方ガドツチカト云フト、土地ノ利用ノ上カラ一番宜カラウト云フ考カラ、土地所有者ニ一番ノ優先權ヲ與ヘテ居リマス、ソレカラ其次ニ承諾シナイ時分ハドウデアアルカト云フ御尋デアリマスガ是ハ現行ノ規定ニ於テモ若シ承諾ヲ得ルコト能ハザルトキハ、其事由ヲ記載シテ願書ト共ニ差出セバ宜イト云フ規定ガアリマス、其場合ニハ官廳カラシテ相當ノ期間ヲ付シテ、土地所有者ニ御前ハ出願スル意思ハ無イカト云フコトヲ問ヒ質シテ、相當ノ期間内ニ出願シナケレバ出願ノ意思ハ無イモノトシテ、現行法デモ處分シテ居リマスカラ、大シテ不便ハナイト思ヒマス

○豐増龍次郎君 サウスルト此第九條ノ二項ハ土地所有者ニ拒ム理由ガアツテ、拒ンダカ否ヤノ鑑定權ヲ行政官廳ニ歸セシムルコトニナリマスガ、サウ云フ御趣意デアリマスカ、此法案ガ法律トナリマシタ曉ニ土地所有者ガ承諾シナイ、シナイケレドモ是ハ理由ガ無クテシナイノデアルト云フコトヲ、出願人ガ證明シマシタ時分ハ、土地所有者ノ承諾ニ付テハ裁判所ガ確定スル途ガ無クテモ、行政官廳ニ於テ不都合ダト云フコトヲ認メテ、許可スルト云フ御趣意デアリマスカ

○政府委員(織田一君) 其點ハ出願ガ有ルカ無イカト云フ事實ニ於テ決シマス、出願ガ無カッタ承諾ヲ拒ムコトガ出來ヌモノト致シマス

○豐増龍次郎君 出願ガアツタカ無カッタカト云フコトハ、即チ所有者ノ承諾ヲ拒ムノニ正當ノ理由ガ有ルカ無イカト云フ議論ニ歸着シマスカラ、土地ノ所有者ト砂鑛出願人トノ爭ハ、砂鑛權ノ出願ガ有ツタカ無カッタカト云フコトモ、其爭ノ一ツニナルノデ、此爭ハ民事ノ裁判所デ當事者ノ何レガ正當デアアルカト云フ判斷ガ出ダ上テナケレバ決シナイ問題デアリマス、ソレヲ行政官廳ニ於テ決シテシマフト云フコトニナリハセヌカ、其邊ヲ御尋致シタイ

○政府委員(織田一君) 其點ハ行政官廳デ決定シテシマヒマス

○豐増龍次郎君 此十一條ニ付テチヨット御尋シタイ、砂鑛權ノ抹消ヲ願ツタ時分ニハ、先ニ抵當權ヲ設定シテ置クトキハ、其抵當權ハ抹消ニ及ブト云フ御意見デアリマスカ

○政府委員(織田一君) ソレハ及バナイノデス

○豐増龍次郎君 サウスルト別ノ問題トシテ起リマスノハ、若シ及バナイト致シマスルト、詰リ一部ノ不可分ノ原則ニ悖シテ參リマス

○政府委員(織田一君) ソレハ今答ヘマシタノハ、當リ前ノ場合ハサウデアリマスガ、鑛業法デハ當然承諾ヲ受ルコトニナツテ居リマスカラ、サウ御承知ヲ……

○豐増龍次郎君 サウスルト抹消ニ當然及ブト云フ御解釋ニナルノデ……

○委員(大井ト新君) 如何デスカ、モウ十二時ニナリマシタガ、今日ハ是デ……

○豐増龍次郎君 今日御尋シタ點ニ於テ、御答ノ濟マナイ點ガアリマスカラ、此儘引續イテ此次ニ委員會ヲ開クコトヲ願ヒマス

○委員長(大井ト新君) ソレハ明後日ノ午後一時カラ開キマス

午後零時二分散會